

「修学旅行で学ぶことができたこと」

修学旅行で最も印象に残ったのは、ファームステイと学校交流です。ファームステイは、とにかく辛い日々でした。虫は出るし、水がほとんど出なくてトイレは流れないし、とにかく散々でした。でも、学べることがたくさんありました。共同生活をしていて、お互いをもっと深く知ることが出来、距離が近くなりました。さらに、普段日本ではなかなか見ることができない満天の星を眺め、牛や馬、羊などのたくさんの動物と触れ合うことができ、こんな生活をするのもいいなと思えるようになりました。日本から遠く離れた場所でこのように暮らしている人たちもいると考えると、とても面白くて興味深いものがありました。



次の学校交流では、多民族の生徒とコミュニケーションをとることが出来て本当に嬉しく思いました。もともと英語が苦手だった私は、相手に何かを伝えたり話したりするのがあまり上手くなく、会話が成立するか心配でしたが、話してみるとスラスラと言葉が出てきて、自分でも驚きました。ペアになった中国系の女の子は、とても日本語が上手で、私が英語で表現しづらいときには日本語で手助けし、優しく接してくれました。多民族社会で、日本のように外国人という1つのくくりの中で見るとはなく、ひとりの人間、ともに仲間、友達という風にみてくれてとても温かいと感じました。初対面でも、ハグや握手ですぐに受け入れてくれるところは、とてもいいところだなと感じました。

今回、オーストラリアで学べたことは、将来を考えるとという意味でもいいきっかけになりました。また、自分の見方や考え方もかなり変わったと思います。学校内での友達もこの修学旅行を通してかなり増え、英語の勉強も以前よりわかるようになりました。今は、何よりオーストラリアの学校の生徒と英語でメッセージを送りあうのが一番楽しいです。この経験を通して、やりたいことを決めたり、何がしたいのかを発見したりしたいと思います。これからも、頑張っていきます。

